

教育内容の設計における

3つの重要なステップ

Eラーニングコース制作を成功させるためのポイント

教育内容の設計は、トレーニングコースの成否を左右する重要なプロセスです。

学習内容を体系的に開発することは、トレーニング受講者の理解度と定着度の向上に寄与します。受講者を理解し、情報伝達のためのもっとも効果的な方法を決定することは、トレーニングへの投資を最大限に活用するために不可欠です。この文書では、トレーニングコース制作サイクルの初期段階において、学習の目標にもっとも合致する教育内容を設計するために考慮する必要のある、3つのステップの概要をご説明します。

1 分析と大枠の決定

- トレーニング受講者の特性を分析し、トレーニングにより見込まれる主要な成果を検証します。何を達成できれば御社にとって「成功」となるかを定義します。
- トレーニングの元となる資料をレビューし、コンテンツの不十分な点を特定して、特定された問題を当該分野の専門家の協力を得て改善します。
- タスクの分析を行い、トレーニングに必要な知識とスキルを特定するとともに、関連するコンテンツのリソースを列挙します。
- 主要トピックの選定や一般的な受講の流れの設計を行い、学習の目標とコースの全体的な構成を決定します。

2 設計仕様書

- コンテンツの大枠に対し社内承認を受け、それに基づいて、モジュール、チャプター、トピックの各レベルにおける教育内容の選定戦略を概説する設計仕様書を作成します。
- モジュールや学習目標のレベルにおいてコースの指針となる、教育内容および視覚的素材の選定戦略を完成させます。

3 ストーリーボード

- コースの各画面で学習者が実際に視聴する内容（画面テキスト、画像、アニメーション、動画、音声などを含む）を示すストーリーボードを作成します。
- ライティングガイドラインとチェックリストを作成、更新します。
- ストーリーボードはコースの制作を始める前に作成します。これにより、レイアウトのテンプレート、ユーザーインターフェイス、コンテンツのフロー、想定するインタラクションなどのレビューを行うことができます。
- インダストリアルデザイナーやアートディレクターをチームに加え、コンテンツのビジュアルを制作します。
- ストーリーボードをレビューし、コンテンツに問題がないか、用語や文体の整合性が取れているかを確認します。フィードバックを分析して、ストーリーボードを更新します。

以上の3ステップは、コース制作の最初の段階にすぎません。コース制作と品質保証、トレーニング実施（導入）、効果の検証（評価）まで、すべて実施することで初めてeラーニングプロジェクトが完成し、将来さらに改訂を加え改善できるようになります。

Eラーニングコース制作の初期プロセス

ライオンブリッジは、計画、制作、品質保証、展開のすべてを含む教育内容の設計における、豊富な専門知識を有しています。弊社のアプローチはお客様のコース制作フローにシームレスに統合可能であり、分析からグローバル展開までに至る、プロセスにおけるあらゆるステップでサービスとリソースを提供します。eラーニングコンテンツの制作に関するご相談や、ご提供できるリソースにご興味のある方は、[Lionbridge.com/content-creation-services](https://www.lionbridge.com/content-creation-services)をご覧ください。



トレーニングに期待する成果とトレーニングのレベルの定義

知識 | 理解 | 応用 | 分析 | 統合 | 評価



コンテンツの種類の特定

データ | コンセプト | 手順 | プロセス | 原理



必須となるコンテンツの定義の特定

ステップ | 決定 | 該当例 | 非該当例 | ルールと結果



教育内容の選定戦略の策定

説明的/探索的 | 段階的な開示 | 自己発見のためのケーススタディ | 対話シミュレーション



ストーリーボードの作成

策定した教育内容のモードおよび選定戦略に基づくストーリーボードの作成



ローカリゼーションの目標の決定

制作プランが、受講対象者が属する文化の社会的、人口統計的、技術的な条件に適合することの確認